

《どうでもいい話、その 611》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！午前と午後に別なところで会合がある日があります。車で移動しますが、昼食を店でとる時間がありません。その時は、事前にコンビニで、パンとジュースを買って車の中で食べます。そのパンもいろんな種類があり、名前もいろいろ付いています。サンドイッチ系は、2枚のパンの間に野菜だのカツ、タマゴ、ハムなどを見えるようにはさんで、きちんと切り整然としています。その点ホットドック系は、細長いパンの中腹部が切り裂かれ、そこにソーセージ、サラダ菜、玉ねぎみじん切りなどが所狭しと押し込まれ、はみ出しています。これは収納しようとしているのか、露呈させようとしているのかその製作意図は曖昧です。それに比べるとアンパン、ジャムパン系は内容物を全て囲い、明らかに収納の意図が読み取れます。またチョコレートパンなどのクリーム系は、貝殻状の中央部をくり抜き、そこにクリームを収納させ開口部を少し露呈させています。すなわち半収納半露呈という明確なポリシーが貫かれています。これらに対しホットドック系は、実にいい加減な方針のもとに作られたのだということがよくわかります。

岩波より